

【施策別総括表の見方】

【選定区分】
 A: 基本事務事業の代表事業
 B: 実施計画事業
 C: 予算案記者発表時重点事業

【事務事業の目的】
 事務事業を実施して実現しようとしていること

【施策番号・施策名】
 事務事業の上位施策となる長期計画(平成22年度～26年度)の施策番号と施策名

【評価】
 〔①成果〕 主に成果指標の達成率から評価
 A: 達成 B: 80%以上達成 C: 80%未満
 〔②効率性〕 主に経費面における効率性の評価
 A: 効率性が高い B: 効率性が低い
 〔③必要性〕 区が事務事業を行う必要性についての評価
 A: 必要性が高い B: 必要性が低い
 〔④総合評価〕 上記各評価に加え公平性・公正性を含めた総合的な評価
 A: 良好に進んでいる B: 良好に進んでいない
 〔理由〕 【評価】の①～④の理由

平成23年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:111 施策名:地域で子育てを支える】

事務事業番号	選定区分	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	〔実績〕	〔実績〕	〔目標〕	〔目標〕	事業区分	実施体制	評価				前年度改善案の達成状況	今年度以降の改革・改善案 取組内容	事業の方向性	協働	担当課	
				21年度	22年度		23年度	26年度	①成果	②効率性			③必要性	④総合評価	内容							
1	A	医療費助成事務	保護者の負担を軽減するとともに、子どもの健やかな育成に寄与し、もって児童福祉の推進を図るため。	成果指標	子ども医療費の助成件数	件数	1,533,061	1,518,764	1,467,036		A	B	A	A	A	A	B	①医療費の一部助成をすることで、保護者の負担軽減がなされ、保健の向上、福祉の増進ができています。 ②医療証データの入力、封入、発送など業務の一部委託を実施するとともに、福祉情報システムの利用により住民記録に連動した正確かつ迅速な事務処理が行われ、効率化が図られている。 ③児童は医療を受ける回数が多く、医療費助成による子育て家庭の支援の必要性は高い。 ④子育て家庭のニーズは高く、子育て支援の重要な施策として今後も継続する。	①引き続き入力業務の委託を活用し効率的な事務を行う。 ②委託の拡大のための事務手続きを進める。	B		子育て支援課
				経費	総経費	千円	3,252,728	3,169,736	3,257,982													
					(上記のうち、人件費)	千円	44,000	40,000	40,000													

【成果指標】
 事務事業を実施した結果の成果
 (事務事業の目的の達成状況を測定するモノサシ)
【経費】
 21・22年度は決算額 23年度は予算額
 総経費は事業費と人件費の合計
 人件費は正規職員一人当たり800万円で算出
 再任用職員は400万円(正規職員0.5人分で換算)

【事業区分】
 A: 自治事務
 B: 法定受託事務
【実施体制】
 A: 区職員(直営)
 B: 一部業務委託
 C: 全部業務委託(指定管理含む)

【前年度改善案の達成状況】
 平成22年度評価で掲げた改革・改善案の達成状況
 A: 達成 B: 一部達成 C: 未達成
 空白: 前年度改革・改善案または評価表が無いもの
【今年度以降の改革・改善案】
【取組内容】
 今回の評価結果を踏まえた今後の改革・改善案の内容
【事業の方向性】

【協働】
 事務事業を区民との協働で実施した場合、協働の原則7つの遵守状況
 A: 遵守5つ以上
 B: 遵守4つ以下

【担当課】
 事務事業を担当する課名を表示